

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ラビデン3S
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX 番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS 作成日	1995年02月03日
SDS 改訂日	2023年01月19日(13版)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分2
健康有害性	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分4
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（中枢神経系、腎臓、全身毒性）
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（血液系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器、肝臓、脾臓）
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分3

ラベル要素

絵表示（GHS JP）



注意喚起語（GHS JP）

: 危険

危険有害性（GHS JP）

: 引火性の高い液体及び蒸気
吸入すると有害
呼吸器への刺激のおそれ
臓器の障害（中枢神経系、腎臓、全身毒性）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（血液系）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器、肝臓、脾臓）
水生生物に有害

注意書き（GHS JP）

安全対策

: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。

管理番号：N3-5577300

- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
 環境への放出を避けること。
- 応急措置：
 : 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を水で洗うこと。
 火災の場合：消火するために霧状の水、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、炭酸ガス消火剤を使用すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- 保管：
 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 施錠して保管すること。
- 廃棄：
 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : 界面活性剤、有機溶剤を含む農薬用展着剤

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	8.0	—	(7)-97	なし(公表化学物質扱い)	69013-19-0
2-プロパノール	55.3	(CH ₃) ₂ CHOH	(2)-207	なし(公表化学物質扱い)	67-63-0
ジアルキルスルホコハク酸ナトリウム塩	1.4	—	(2)-1620, (2)-1623	2-(4)-384, 8-(2)-2462	577-11-7
ポリオキシエチレン脂肪酸エステル	3.0	C ₁₈ H ₃₄ O ₂ · x(C ₂ H ₄ O) _n H ₂ O	—	—	56449-46-8

《その他の溶媒・水等》

- 含有量 32.3%
 化審法 企業秘密につき記載せず（いずれも既存化学物質）
 安衛法 なし（公表化学物質）

《2-プロパノールの別名》

イソプロパノール

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：霧状の水
粉末消火剤
耐アルコール性泡消火剤
炭酸ガス消火剤
- 使ってはならない消火剤：情報なし。
- 火災危険性：燃焼によって有毒ガスを生成する。
- 消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火作業は風上から行う。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
- 消火を行う者の保護：燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」及び「火気厳禁」の措置を行う。
十分な換気を確保する。
風上から近づく。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : ウェス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。

漏出物が河川・用水路に流れないように注意する。

二次災害の防止策 : 火花を発生させない工具を使用すること。

炎や火花の禁止。発火源をすべて断つ。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 : 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。

取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

皮膚、目、あるいは衣服との接触を避ける。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

容器を接地しアースを取ること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。

保管

安全な保管条件 : 火気厳禁。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
酸化性物質や有機過酸化物など同一の場所で保管しない。
子供の手の届かないところに置くこと。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 : 情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

《ポリオキシエチレンアルキルエーテル のデータ》

厚生労働省

管理濃度 : 設定されていない

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会) : 設定されていない

年度 : 2021

ACGIH

許容濃度(ACGIH) : 設定されていない

年度 : 2021

《2-プロパノール のデータ》

厚生労働省

管理濃度 : 200 ppm

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会) : 400 ppm

年度 : 2021

ACGIH

TWA : 200 ppm

STEL : 400 ppm

年度 : 2021

設備対策 : 屋内使用の場合、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。

呼吸用保護具 : 有機ガス用防毒マスク

手の保護具 : ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

眼の保護具 : ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 材質を特定しないが、長袖・長ズボン

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 淡黄色

臭い : データなし

pH : 4.5 (20%水 20°C)

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

可燃性 : データなし

蒸気圧 : データなし

相対密度 : 0.88 (20/4°C)

密度 : データなし

相対ガス密度 : データなし

溶解度 : データなし

n-オクタノール/水分係数 (Log Pow) : データなし

爆発限界 (vol %) : データなし

動粘性率 : データなし

その他の性質 : 表面張力：0.031 N/m(20°C) (5000 倍液、測定例)

粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 情報なし。

化学的安定性 : 通常の手扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 直射日光。熱。高温。
混触危険物質	: 強力な酸化剤から離して保管する。
危険有害な分解生成物	: 燃焼によって次のものを生成する：一酸化炭素。二酸化炭素。硫黄酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない
急性毒性（経皮）	: 区分に該当しない
急性毒性（吸入）	: 分類できない（蒸気） 吸入すると有害
急性毒性（吸入:ミスト）	: 下記のデータから区分4とした。

ラビデン3S	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経口	> 5000 mg/kg (マウス)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	♂ : 3.8mg/1/4hr ♀ : 3.3mg/1/4hr

皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 区分に該当しない 弱い刺激（ワギ）。試験レポートのスコア値から区分に該当しないとした。
-------------	--

ラビデン3S	
pH	4.5 (20%水 20°C)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない 中程度の刺激性（ワギ）。試験レポートのスコア値から区分に該当しないとした。
------------------	---

ラビデン3S	
pH	4.5 (20%水 20°C)

呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 区分に該当しない 感受性なし（モレット）
生殖細胞変異原性	: 分類できない

ポリオキシエチレンアルキルエーテル	
生殖細胞変異原性	成分のデータから区分に該当しないとした。（成分データ）in vitro 試験（復帰突然変異試験、Ames 試験、染色体異常試験、不定期 DNA 試験）、in vivo（マウス小核試験）試験で全て陰性（類似品）

ジアルキルスルホコハク酸ナトリウム塩	
生殖細胞変異原性	in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro の試験では、エームス試験で陰性（USEPA/HPV（2001））、CHO 細胞を用いた染色体異常試験で陽性および陰性（USEPA/HPV（2011））の報告がある。

管理番号：N3-5577300

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(血液系)
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器、肝臓、脾臓)
 区分1(血液系)のイフ^oロハ^oノルを10%以上が乳するため区分1(血液系)とした。区分2(呼吸器、肝臓、脾臓)のイフ^oロハ^oノルを10%以上含有するため区分2(呼吸器、肝臓、脾臓)とした。

ジアルキルスルホコハク酸ナトリウム塩	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの90日間混餌投与試験(1%混餌(換算値:500 mg/kg/day))で、死亡や異常行動はみられず、体重増加、摂餌量、血液学的検査、尿検査、病理学的検査においても、投与に関連した影響は見られなかったとの記述(USEPA HPV(2001))から、経口ばく露では区分外に相当するが、他の経路(吸入、経皮)の毒性影響のデータがなく、データがなく分類できないとした。

誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に有害
 下記のデータから区分3とした。
 水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない

ラビデン3S	
LC50 - 魚 [1]	13.4 mg/l (コイ、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	10.6 mg/l (48hr)
EbC50 (藻類)	18.9 mg/l (72hr)

残留性・分解性

ラビデン3S	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

ラビデン3S	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

ラビデン3S	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない
 オゾン層への影響 : モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
 その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制
- 海上規制情報 : IMOの規定に従う。
- 航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。
- 国連番号 : 1993
- 正式輸送品名 : その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）
- 国連分類 : 3
- 容器等級 : II
- 海洋汚染物質 : 非該当
- 国内規制
- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
- 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
- 特別な輸送上の注意 : 荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。
- その他の情報 : 補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

- 労働安全衛生法 : 第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）
イソプロピルアルコール
作業環境評価基準（法第65条の2第1項）
イソプロピルアルコール
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
プロピルアルコール（政令番号：494）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
プロピルアルコール
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 消防法 : 第4類引火性液体、第二石油類水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
- 道路法 : 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）

管理番号：N3-5577300

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)(管理番号:407)(8.0%)

農薬取締法 : 該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)			
中毒110番	一般市民専用電話	(大阪)	072-727-2499(情報料無料)
			365日24時間対応
		(つくば)	029-852-9999(情報料無料)
			365日9~21時対応
	医療機関専用有料電話	(大阪)	072-726-9923(1件2000円)
			365日24時間対応
		(つくば)	029-851-9999(1件2000円)
			365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。